西原中　中2

国語　定期テスト対策プリント

【本体教材が必要です】と書かれたプリント→必修テキストを使用して解く問題になります

※必修テキストを購入された方はご活用ください

【教科書が必要です】と書かれたプリント→学校の教科書を使用して解く問題になります

※本体教材が必要です。

実施日：　月　日

15 得点UPプリント 古典の知識 随筆の味わい——枕草子・徒然草——

教科書 p. 134〜142

◆◆本体教材66〜68ページを読んで、あとの問いに答えなさい。

(1)『枕草子』について、次の各問いに答えなさい。

① 成立したのは、どの時代ですか。「……時代」に続くように、漢字二字で書きなさい。

時代

② 作者の名前を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 小野小町　イ 清少納言
ウ 和泉式部　エ 式子内親王

③『枕草子』の作者とほぼ同じ時代に、長編小説を執筆して活躍した女性がいます。その人物の名前と、彼女が著した文学作品を、それぞれ漢字で書きなさい。

名前

文学作品

(2)『徒然草』が成立した年代と、作者の名前の組み合わせとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 年代＝平安時代　作者＝兼好法師
イ 年代＝平安時代　作者＝西行法師
ウ 年代＝鎌倉時代　作者＝兼好法師
エ 年代＝鎌倉時代　作者＝西行法師

(3) 古典文学の三大随筆といわれるものとして、『枕草子』と『徒然草』と、鴨長明が書いた作品があります。その作品の名前を、漢字三字で書きなさい。

(4) 次の言葉を現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書きなさい。

① をかしげなる
② 詣でけり
③ みづから
④ あやしう

(5) 次の——線の意味を書きなさい。

① 月の頃はさらなり
② 雨など降るもをかし
③ かたへの人にあひて
④ 心にうつりゆくよしなしごと

(6) 次の□にあてはまる言葉をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 神へ参るこそ□
ア 本意なり　イ 本意なる　ウ 本意なれ

② 「山までは見ず。」とぞ□
ア 言ひけり　イ 言ひける　ウ 言ひけれ

③ あやしうこそ□
ア ものぐるほしけり　イ ものぐるほしける　ウ ものぐるほしけれ

名前：　確認

※本体教材が必要です。

実施日：　月　日

15 得点UPプリント 随筆の味わい——枕草子・徒然草——

教科書 p. 134 - 142

◆◆本体教材70～71ページの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) A の古文の6行め「秋は夕暮れ。」で始まる段落では、作者がどの感覚で捉えたものが描かれていますか。次から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 視覚　イ 聴覚（ちょうかく）　ウ 触覚
エ 味覚　オ 嗅覚

(2) A の古文の14行め「わろし」とありますが、作者はどのようなことを「よくない」と感じているのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、二十字以内で書きなさい。

・昼になって、寒さがだんだんゆるんで暖かくなっていくと、□こと。

(3) B の古文の5行め「おほへる」を現代仮名遣（づか）いに直し、全て平仮名で書きなさい。

(4) B の古文の3行め「見つけて」、6行め「見たる」の主語を、古文中からそれぞれ抜き出しなさい。

見つけて
見たる

(5) あなたにとって季節感や趣があると感じるものについて、A「春はあけぼの」の章段を参考にして、あとの各問いに答えなさい。

1　テーマを現代語で「……づくし」に続くように書き、季節ごとに例をあげなさい。

例 虫（づくし）
春はあげは蝶（ちょう）。夏は蟬（せみ）。秋は鈴虫。冬はみの虫。

□づくし

2　1で書いたものの中から季節を一つ選び、詳しく書きなさい。

例 夏は蟬。ようやく土の中から出られたとばかりに、けたたましく鳴いているのがいい。寿命（じゅみょう）を迎え、アスファルトにひっくり返った姿に、切なさを感じる。

名前：　　確認

※本体教材が必要です。

◆◆本体教材72～73ページの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(6) A の古文の2行め「そこはかとなく」の意味を、現代語訳の中から抜き出しなさい。

(7) A の古文に書かれている内容として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 『徒然草』を書こうと思ったきっかけ。
イ 『徒然草』をとおして伝えたかった自分の考え。
ウ 『徒然草』を書いているときの自分の心の状態。
エ 『徒然草』を発表したあとの世間の反応。

(8) B の古文の5～6行め「参りたる人ごとに山へ登りし」とありますが、ほかの参拝者たちが山を登っていたのは、なぜだと考えられますか。二十字以内で書きなさい。

(9) B の古文の7行め「山までは見ず」とありますが、法師がほかの参拝者と違って山に登らなかったのは、なぜですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 山に登ることは、自分の本来の目的とは違うと思ったから。
イ 山へ登るほどの体力が、もう残っていなかったから。
ウ 山へ登っていくだけの時間的な余裕(よゆう)がなかったから。
エ ほかの人のまねをするのは、自尊心が許さなかったから。

(10) B の古文で、法師はどのような失敗をしたのですか。四十字以内で書きなさい。

(11) B の古文中から、作者の感想が述べられている一文を抜き出し、初めの五字を書きなさい。

◆◆本体教材74ページの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(12) 1行め「人を食らふなる」の意味として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人々を食うだろう　イ 人々を食うわけがない
ウ 人々を食っている　エ 人々を食うそうだ

(13) 5行め「一人歩かん身は心すべきこと」とありますが、どういうことですか。次の文の□にあてはまる言葉を、十字以内で書きなさい。

・一人歩きをする自分は、□ように用心しなければならないということ。

(14) 9行め「小川へ転び入りて」とありますが、ここから法師のどのような様子がわかりますか。「猫また」という言葉を使って、二十字以内で書きなさい。

名前:　　確認

※本体教材が必要です。

実施日：　月　日

20 得点UPプリント ガイアの知性

□教科書 p. 196～207

◆◆本体教材122～123ページの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) 18～19行め「水族館でオルカが見せてくれる『芸』」とありますが、この「芸」について説明した次の文の□にあてはまる言葉を、文章中の言葉を使って、三十字以内で書きなさい。

▪オルカが、人間の求めていることを正確に理解して、□ことで可能になるもの。

(2) 33行め「オルカ自身の意志と選択」とありますが、具体的にどういうことを指していますか。文章中の言葉を使って、四十字以内で書きなさい。

◆◆本体教材124～125ページの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(3) 16行め「うんうんと頭を振り」とありますが、このしぐさには、どういう意味がありますか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　自分が学者につけたイルカ語の名前を、学者が上手に発音することができたという意味。

イ　人間には難しいイルカ語の発音を習得しようとする学者の努力を、たたえたいという意味。

ウ　学者のしぐさのまねをすることによって、自分が学者に好意をもっていることを伝えたいという意味。

エ　学者が自分につけてくれたイルカ語の名前を気に入っていて、もっと呼んでほしいという意味。

□

(4) 21～22行め「巨大な象がやってきて、倉庫のかんぬきを開けようとする」とありますが、象がこのような行動をとったのは、なんのためだと考えられますか。二十字以内で書きなさい。

(5) 47～48行め「真の意味の『ガイアの知性』に進化する必要がある」とありますが、人間は具体的にどうするべきだというのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文章中の言葉を使って書きなさい。

▪人間は、環境や地球全体の生命のために、□べきである。

名前：　　確認

※教科書が必要です。

実施日：　月　日

25 文章完全マスタープリント 走れメロス

教科書 p. 248〜268

●●● 教科書250〜266ページ「走れメロス」の全文を読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) 250ページ8行め「竹馬の友」について、次の各問いに答えなさい。

1 「竹馬の友」の読み方を、全て平仮名で書きなさい。

2 「竹馬の友」の意味を、簡潔に書きなさい。

(2) 251ページ18行め「のそのそ王城に入っていった」とありますが、メロスは何をするつもりで王城に入っていったのですか。「……つもりだった。」に続くように、十五字以内で書きなさい。

つもりだった。

(3) 252ページ9〜10行め「王は、民の忠誠をさえ疑っておられる。」とありますが、王は、人間をどのようなものだと見なしていますか。文章中から四字で抜き出しなさい。

(4) 252ページ14行め「ほっとため息をついた」とありますが、この「ため息」に表れている王の心情として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 悲嘆　イ 安堵　ウ 憎悪　エ 恐怖

(5) 253ページ10行め「私は約束を守ります。」とありますが、メロスはどのようなことを約束したのですか。文章中の言葉を使って、二十五字以内で書きなさい。

(6) 253ページ15行め「それを聞いて王は、残虐な気持ちで、そっとほくそ笑んだ。」とありますが、このとき王が思ったことが書かれている部分を文章中から抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。

〜

(7) 254ページ2行め「願いを、聞いた。」とありますが、王がメロスの願いを聞き入れたのは、なぜですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人の心は信じられないが、情けをかけてやろうと思ったから。
イ メロスが信じられるかどうか、試してみようと思ったから。
ウ メロスが立派なので、人の心を信じてみようと思ったから。
エ 人の心が信じられないことを、証明してやろうと思ったから。

名前：　確認

※教科書が必要です。

(8) 254ページ5行め「なに、何をおっしゃる。」とありますが、このときのメロスの気持ちとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　王が、自分の考えていることを言い当てたので、恥ずかしく思っている。
イ　王が、自分に卑怯なまねをするようそそのかしてきたので、怒っている。
ウ　王が、自分の提案を受け入れて思わぬ優しさを見せたので、驚いている。
エ　王が、自分が考えもつかなかったことを言い出したので、感心している。

(9) 255ページ16～17行め「今は、自分の体で、自分のものではない」とありますが、それはなぜですか。二十五字以内で書きなさい。

(10) 257ページから、氾濫した川を泳いだり、山賊に襲われたりする場面が続きますが、メロスの身にこのような災難が降りかかることを暗示している一文を、これより前の文章中から抜き出し、初めの五字を書きなさい。

(11) 260ページ17～18行め「正義だの、信実だの、愛だの、考えてみれば、くだらない。人を殺して自分が生きる。それが人間世界の定法ではなかったか。」とありますが、このように考えたことを、メロスはのちになんと表現していますか。261ページの文章中から十字以内で抜き出しなさい。

(12) 261ページ7行め「僅かながら希望が生まれた」とありますが、どのような「希望」ですか。文章中から二つ抜き出しなさい。

(13) 266ページ2行め「おまえらは、わしの心に勝ったのだ。」とありますが、王はどのようなことを伝えたかったのですか。四十字以内で書きなさい。

(14) 「メロス」「ディオニス」「セリヌンティウス」の人物像として適切なものを次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア　友人思いで、人は信じられるという強い信念をもつ人物。
イ　冷静で思慮深く、物事を慎重に判断しようとする人物。
ウ　人を信じることができず、猛烈な孤独にとりつかれた人物。
エ　ずる賢く残忍で、人を傷つけることを無上の喜びとする人物。
オ　明るくお人よしで、すぐ人にだまされてしまう人物。
カ　単純で正義感が強い一方、心の弱さもあわせもつ人物。

メロス　　ディオニス　　セリヌンティウス

名前：　　確認

※教科書が必要です。

(15)　この作品における表現上の工夫について、次のようにまとめました。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。

■漢語表現の多用
【効果】場面に［A］や重厚（じゅうこう）な雰囲気をもたらしている。
例「邪知暴虐」（250ページ1行め）、「憫笑」（252ページ6行め）、「反駁」（252ページ8行め）

■比喩表現の多用
【効果】様子や情景を想像しやすくしている。
①［B］
例「逃がした小鳥が帰ってくるというのか。」（253ページ8～9行め）
②［C］
例「百匹の大蛇のようにのたうち荒れ狂う波」（258ページ6行め）
③［D］
例「何か小さくささやきながら清水が湧き出ている」（261ページ5行め）

■語り手の視点の変化
【効果】メロスへの共感を促したり、物語に迫力を与えたりしている。
例「メロスは激怒した。」（250ページ1行め）
→語り手…［E］
「私は、信頼に報いなければならぬ。」（261ページ12行め）
→語り手…［F］

■心情が暗示された情景描写
【効果】強い印象を与えている。
例「塔楼は、夕日を受けてきらきら光っている。」（263ページ4～5行め）

1　［A］にあてはまる言葉を、五字以内で考えて書きなさい。

2　［　］B～Dには、それぞれ～～線B～Dの部分で用いられている比喩の種類があてはまります。適切なものを次から一つずつ選び、記号で答えなさい。
ア　直喩法　　イ　隠喩法　　ウ　擬人法

B［　］　C［　］　D［　］

3　［　］E・Fにあてはまるものを次から一つずつ選び、記号で答えなさい。
ア　メロスから距離をとって語っている。
イ　メロスに寄り添って語っている。

E［　］　F［　］

4　――線「塔楼は、夕日を受けてきらきら光っている。」とありますが、この情景描写は何を暗示していると考えられますか。二十五字以内で書きなさい。

名前：　　確認

実施日：　月　日

29 得点UPプリント 文法2 活用のある自立語

教科書 p.120／294〜300

1 次の各文から動詞を一つずつ抜き出し、言い切りの形に直して書きなさい。

① 明日そちらへ行きます。　［　　］

② 時間に遅れることはない。　［　　］

③ 毎朝七時に起きればよい。　［　　］

④ 大急ぎで公園へ来い。　［　　］

⑤ 将来絶対に外国に住もう。　［　　］

⑥ そのお菓子はなつかしい味がした。　［　　］

⑦ 午前五時にはまだ校門が開かない。　［　　］

2 次の動詞の活用の種類をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 寝る　［　　］　② 生きる　［　　］　③ 騒ぐ　［　　］

④ 落ちる　［　　］　⑤ 来る　［　　］　⑥ する　［　　］

⑦ 刷る　［　　］　⑧ 答える　［　　］　⑨ 開発する　［　　］

ア 五段活用　イ 上一段活用　ウ 下一段活用

エ カ行変格活用　オ サ行変格活用

3 次の各文の――線の動詞の活用形を書きなさい。

① 僕は待ち合わせ場所へと急いだ。　［　　］

② ここに来れば、友達に会える。　［　　］

③ 一斉に笛を吹けと言われる。　［　　］

④ 命令されると逆らいたくなる。　［　　］

⑤ 一学期の学習を復習しておこう。　［　　］

⑥ 雨が降る前に山を下りよう。　［　　］

⑦ 力強い味方を得ることが必要だ。　［　　］

4 次の各文の――線の形容詞の活用形を書きなさい。

① 父の顔はずいぶん赤かった。　［　　］

② まずかろうが全部食べなさい。　［　　］

③ 褒められてうれしい気持ちになった。　［　　］

④ つらければ、家に戻っておいで。　［　　］

⑤ 東の空が明るくなる。　［　　］

⑥ 行くにはまだ早いと思う。　［　　］

名前：　　確認

5 次の各文の――線の形容動詞の活用形を書きなさい。

① なんて穏(おだ)やかな表情なのだろう。（　　）

② この辺りは夜になるととても静かになる。（　　）

③ 休日の教室は静まり返っていて不気味だろう。（　　）

④ 君が迷惑(めいわく)なら、考え直す。（　　）

6 例と同じ関係になるように、□にあてはまる動詞を書きなさい。

例 車を止める。／車が止まる。

① 宿題を終える。／宿題が□。

② 全員を並べる。／全員が□。

③ 熱を□。／熱が下がる。

④ ボールを□。／ボールが転がる。

7 次の各文の――線の言葉が、ア補助動詞、イ補助形容詞、ウそれ以外、のどれにあたるかを記号で答えなさい。

① 友達に誕生日プレゼントをあげる。（　　）

② 私は食べるのがあまり早くない。（　　）

③ 衣類を引き出しにしまう。（　　）

④ 小さな子と遊んであげる。（　　）

⑤ 母と話していると、姉が帰ってきた。（　　）

⑥ もっと部屋を暖めてほしい。（　　）

8 次の各文から解答欄(らん)の数だけ用言を抜き出し、品詞名と活用形をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① やはり彼の言うことは正しかったのだ。

用言（　　）　品詞名（　　）　活用形（　　）

② 暗ければ明かりをつけてテレビを見ろ。

用言（　　）　品詞名（　　）　活用形（　　）

用言（　　）　品詞名（　　）　活用形（　　）

③ 次は真面目に勉強して試験を受けよう。

用言（　　）　品詞名（　　）　活用形（　　）

用言（　　）　品詞名（　　）　活用形（　　）

用言（　　）　品詞名（　　）　活用形（　　）

【品詞名（活用の種類）】

ア 動詞（五段活用）　イ 動詞（上一段活用）

ウ 動詞（下一段活用）　エ 動詞（カ行変格活用）

オ 動詞（サ行変格活用）　カ 形容詞　キ 形容動詞

【活用形】

ア 未然形　イ 連用形　ウ 終止形　エ 連体形

オ 仮定形　カ 命令形

名前：　　確認

※本体教材と同一の問題です。

実施日：　月　日

29 直前チェックプリント 文法2 活用のある自立語

得点　／100

教科書 p. 120／294〜300

1 次の各文の――線の動詞のA活用形と、B活用の種類を書きなさい。（2点×10）

① 来週の試合のために、しっかり練習した。
A［　　］　B［　　］

② もっと明るい音楽を聴けばいいのに。
A［　　］　B［　　］

③ 貴重な食料だから大切に食べろ。
A［　　］　B［　　］

④ 明日は六時に起きるので、今日は早寝が賢明だ。
A［　　］　B［　　］

⑤ もう時間だが前田さんがなかなか来ない。
A［　　］　B［　　］

2 例と同じ関係になるように、［　］にあてはまる動詞を書きなさい。（5点×4）

例 人を集める。／人が集まる。

① 力を加える。／力が［　　］

② 人を［　　］／人が泊まる。

③ 舌を出す。／舌が［　　］

④ 形を［　　］／形が変わる。

3 次の各文の形容詞・形容動詞に――線を引き、それがア形容詞か、イ形容動詞かを記号で答えなさい。また、その活用形も書きなさい。（2点×15）

① 髪が長かったので、結んだ。
［　　］［　　］

② 細やかな気づかいをする。
［　　］［　　］

③ いくら苦しかろうともあきらめない。
［　　］［　　］

④ 田中さんはいつも元気です。
［　　］［　　］

⑤ 部屋がきれいならば人も来る。
［　　］［　　］

4 次の各組の――線の用言のうち補助用言であるほうに○をつけ、それが補助動詞か補助形容詞かを書きなさい。（完答6点×2）

① ア（　）白鳥が飛んでいる。
イ（　）湖に白鳥がいる。
［　　］

② ア（　）私の鏡はそんなに大きくない。
イ（　）私の部屋には鏡がない。
［　　］

名前：　　確認

※本体教材と同一の問題です。

5 次の□にあてはまるように「来る」を活用させて、平仮名で書きなさい。（3点×6）

野球部の先輩に「今日見学に①か？　絶対②よ。」と誘われて、行ってみた。見学に③ている人は他にもいて、練習内容は、友達も④ばよかったのにと思うほどおもしろかった。次は一緒に⑤よう。今度⑥ときは練習に参加しよう。

①	②	③
④	⑤	⑥

名前：

確認

※本体教材が必要です。

実施日：　月　日

15 得点UPプリント 古典の知識 随筆の味わい——枕草子・徒然草——

教科書 p.134-142

◆◆◆本体教材66～68ページを読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) 『枕草子』について、次の各問いに答えなさい。

① 成立したのは、どの時代ですか。「……時代」に続くように、漢字二字で書きなさい。

平安 時代

② 作者の名前を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 小野小町　イ 清少納言
ウ 和泉式部　エ 式子内親王

イ

③ 『枕草子』の作者とほぼ同じ時代に、長編小説を執筆して活躍した女性がいます。その人物の名前と、彼女が著した文学作品を、それぞれ漢字で書きなさい。

名前　紫式部　　文学作品　源氏物語

(2) 『徒然草』が成立した年代と、作者の名前の組み合わせとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 年代＝平安時代　作者＝兼好法師
イ 年代＝平安時代　作者＝西行法師
ウ 年代＝鎌倉時代　作者＝兼好法師
エ 年代＝鎌倉時代　作者＝西行法師

ウ

(3) 古典文学の三大随筆といわれるものとして、『枕草子』と『徒然草』と、鴨長明が書いた作品があります。その作品の名前を、漢字三字で書きなさい。

方丈記

(4) 次の言葉を現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書きなさい。

① をかしげなる　→　おかしげなる
② 詣でけり　→　もうでけり
③ みづから　→　みずから
④ あやしう　→　あやしゅう

(5) 次の——線の意味を書きなさい。

① 月の頃はさらなり　例 いうまでもない
② 雨など降るもをかし　例 趣がある
③ かたへの人にあひて　例 仲間
④ 心にうつりゆくよしなしごと　例 たわいもないこと

(6) 次の□にあてはまる言葉をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 神へ参るこそ□　ア 本意なり　イ 本意なる　ウ 本意なれ　→ ウ
② 「山までは見ず。」とぞ□　ア 言ひけり　イ 言ひける　ウ 言ひけれ　→ イ
③ あやしうこそ□　ア ものぐるほしけり　イ ものぐるほしける　ウ ものぐるほしけれ　→ ウ

名前：　確認

※本体教材が必要です。

実施日：　月　日

15 得点UPプリント 随筆の味わい——枕草子・徒然草——

教科書 p. 134〜142

◆◆◆本体教材70〜71ページの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) Aの古文の6行め「秋は夕暮れ。」で始まる段落では、作者がどの感覚で捉えたものが描かれていますか。次から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 視覚　イ 聴覚　ウ 触覚
エ 味覚　オ 嗅覚

ア　イ　〔順不同〕

(2) Aの古文の14行め「わろし」とありますが、作者はどのようなことを「よくない」と感じているのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、二十字以内で書きなさい。

・昼になって、寒さがだんだんゆるんで暖かくなっていくと、□こと。

例

火	桶	の	火	も	、	白	い	灰	が										
多	く	な	っ	て	く	る													

(3) Bの古文の5行め「おほへる」を現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書きなさい。

おおえる

(4) Bの古文の3行め「見つけて」、6行め「見たる」の主語を、古文中からそれぞれ抜き出しなさい。

見つけて　二つ三つばかりなるちご
見たる　頭は尼そぎなるちご

(5) あなたにとって季節感や趣があると感じるものについて、A「春はあけぼの」の章段を参考にして、あとの各問いに答えなさい。

1　テーマを現代語で「……づくし」に続くように書き、季節ごとに例をあげなさい。

例 虫（づくし）
春はあげは蝶。夏は蟬。秋は鈴虫。冬はみの虫。

例1 くだもの　づくし

例1 春はいちご。夏はすいか。秋は柿。冬はみかん。

例2 イベント（づくし）
春はクラス替え。夏は林間学校。秋は体育祭。冬は百人一首大会。

2　1で書いたものの中から季節を一つ選び、詳しく書きなさい。

例 夏は蟬。ようやく土の中から出られたとばかりに、けたたましく鳴いているのがいい。寿命を迎え、アスファルトにひっくり返った姿に、切なさを感じる。

例1 冬はみかん。ぬくぬくこたつに入って食べるのが、最高のぜいたく。白い筋がきれいにとれると気持ちがいい。

例2 春はクラス替え。ぽつりぽつりと教室に入ってくるクラスメイトが、友人を見つけて、ぱっと顔をかがやかせるのがいい。担任の先生の発表もまた、どきどきする。

名前：　確認

※本体教材が必要です。

◆◆本体教材72～73ページの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(6) A の古文の2行め「そこはかとなく」の意味を、現代語訳の中から抜き出しなさい。

とりとめもなく

(7) A の古文に書かれている内容として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 『徒然草』を書こうと思ったきっかけ。
イ 『徒然草』をとおして伝えたかった自分の考え。
ウ 『徒然草』を書いているときの自分の心の状態。
エ 『徒然草』を発表したあとの世間の反応。

ウ

(8) B の古文の5～6行め「参りたる人ごとに山へ登りし」とありますが、ほかの参拝者たちが山を登っていたのは、なぜだと考えられますか。二十字以内で書きなさい。

例

石	清	水	八	幡	宮	は	山	の	上
に	あ	っ	た	か	ら	。			

(9) B の古文の7行め「山までは見ず」とありますが、法師がほかの参拝者と違って山に登らなかったのは、なぜですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 山に登ることは、自分の本来の目的とは違うと思ったから。
イ 山へ登るほどの体力が、もう残っていなかったから。
ウ 山へ登っていくだけの時間的な余裕(よゆう)がなかったから。
エ ほかの人のまねをするのは、自尊心が許さなかったから。

ア

(10) B の古文で、法師はどのような失敗をしたのですか。四十字以内で書きなさい。

例

石	清	水	八	幡	宮	が	山	の	上	に	あ	る	と	は	知	ら	ず	に	、
参	拝	し	な	い	で	帰	っ	て	く	る	と	い	う	失	敗	。			

(11) B の古文中から、作者の感想が述べられている一文を抜き出し、初めの五字を書きなさい。

少	し	の	こ	と

◆◆本体教材74ページの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(12) 1行め「人を食らふなる」の意味として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人々を食うだろう　イ 人々を食うわけがない
ウ 人々を食っている　エ 人々を食うそうだ

エ

(13) 5行め「一人歩かん身は心すべきこと」とありますが、どういうことですか。次の文の［　］にあてはまる言葉を、十字以内で書きなさい。

▪一人歩きをする自分は、［　］ように用心しなければならないということ。

例

猫	ま	た	に	食	べ	ら	れ	な	い

(14) 9行め「小川へ転び入りて」とありますが、ここから法師のどのような様子がわかりますか。「猫また」という言葉を使って、二十字以内で書きなさい。

別解 猫またに出会わない〈9字〉

例

猫	ま	た	を	怖	が	っ	て	、	正	
気	を	失	っ	て	い	る	様	子	。	

名前：　　確認

※本体教材が必要です。

実施日：　月　日

20 得点UPプリント ガイアの知性

教科書 p. 196〜207

◆◆本体教材122〜123ページの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) 18〜19行め「水族館でオルカが見せてくれる『芸』」とありますが、この「芸」について説明した次の文の□にあてはまる言葉を、文章中の言葉を使って、三十字以内で書きなさい。

・オルカが、人間の求めていることを正確に理解して、□ことで可能になるもの。

例

高	度	な	能	力	を	人	間	の	レ	ベ	ル	に	合	わ	せ	て	制	御	し	調	整	し	な	が	ら	使	う		

(2) 33行め「オルカ自身の意志と選択」とありますが、具体的にどういうことを指していますか。文章中の言葉を使って、四十字以内で書きなさい。

例

人	間	を	「	友	」	と	し	て	受	け	入	れ	て	喜	ば	せ	、	自	分	自	身	も	生	き	る	こ	と	を	楽	し	も	う	と	い	う	こ	と	。		

◆◆本体教材124〜125ページの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(3) 16行め「うんうんと頭を振り」とありますが、このしぐさには、どういう意味がありますか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　自分が学者につけたイルカ語の名前を、学者が上手に発音することができたという意味。

イ　人間には難しいイルカ語の発音を習得しようとする学者の努力を、たたえたいという意味。

ウ　学者のしぐさのまねをすることによって、自分が学者に好意をもっていることを伝えたいという意味。

エ　学者が自分につけてくれたイルカ語の名前を気に入っていて、もっと呼んでほしいという意味。

ア

(4) 21〜22行め「巨大な象がやってきて、倉庫のかんぬきを開けようとする」とありますが、象がこのような行動をとったのは、なんのためだと考えられますか。二十字以内で書きなさい。

例

肉	親	の	象	の	歯	を	元	の	場	所	に	戻	す	た	め	。													

(5) 47〜48行め「真の意味の『ガイアの知性』に進化する必要がある」とありますが、人間は具体的にどうするべきだというのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文章中の言葉を使って書きなさい。

・人間は、環境や地球全体の生命のために、□べきである。

例

自	然	の	営	み	を	繊	細	に	理	解	し	、	そ	れ	に	適	応	し	て	生	き	る	こ	と	に	高	度	な	知	性	を	使	う								

名前：　　確認

※教科書が必要です。

実施日：　月　日

25 文章完全マスタープリント 走れメロス

教科書 p.248〜268

●●● 教科書250〜266ページ「走れメロス」の全文を読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) 250ページ8行め「竹馬の友」について、次の各問いに答えなさい。

1 「竹馬の友」の読み方を、全て平仮名で書きなさい。

ちくばのとも

2 「竹馬の友」の意味を、簡潔に書きなさい。

例 幼い頃からの友人。

(2) 251ページ18行め「のそのそ王城に入っていった」とありますが、メロスは何をするつもりで王城に入っていったのですか。「……つもりだった。」に続くように、十五字以内で書きなさい。

例									
町	を	救	う	た	め	に	短	剣	で
王	を	殺	す						

つもりだった。

(3) 252ページ9〜10行め「王は、民の忠誠をさえ疑っておられる。」とありますが、王は、人間をどのようなものだと見なしていますか。文章中から四字で抜き出しなさい。

私	欲	の	塊

(4) 252ページ14行め「ほっとため息をついた」とありますが、この「ため息」に表れている王の心情として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 悲嘆　イ 安堵　ウ 憎悪　エ 恐怖

ア

(5) 253ページ10行め「私は約束を守ります。」とありますが、メロスはどのようなことを約束したのですか。文章中の言葉を使って、二十五字以内で書きなさい。

例										
三	日	め	の	日	暮	れ	ま	で	に	
王	の	も	と	に	帰	っ	て	く	る	
こ	と	。								

(6) 253ページ15行め「それを聞いて王は、残虐な気持ちで、そっとほくそ笑んだ。」とありますが、このとき王が思ったことが書かれている部分を文章中から抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。

生	意	気	な	こ

〜

い	も	の	さ	。
（た	い	も	の	さ）

(7) 254ページ2行め「願いを、聞いた。」とありますが、王がメロスの願いを聞き入れたのは、なぜですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人の心は信じられないが、情けをかけてやろうと思ったから。
イ メロスが信じられるかどうか、試してみようと思ったから。
ウ メロスが立派なので、人の心を信じてみようと思ったから。
エ 人の心が信じられないことを、証明してやろうと思ったから。

エ

名前：　確認

※教科書が必要です。

(8) 254ページ5行め「なに、何をおっしゃる。」とありますが、このときのメロスの気持ちとして適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　王が、自分の考えていることを言い当てたので、恥ずかしく思っている。
イ　王が、自分に卑怯なまねをするようそそのかしてきたので、怒っている。
ウ　王が、自分の提案を受け入れて思わぬ優しさを見せたので、驚いている。
エ　王が、自分が考えもつかなかったことを言い出したので、感心している。

イ

(9) 255ページ16～17行め「今は、自分のものではない」とありますが、それはなぜですか。二十五字以内で書きなさい。

例　今は、王に自分の命を預けてある状態だから。

別解　自分にセリヌンティウスの命がかかっているから。〈23字〉

(10) 257ページから、氾濫した川を泳いだり、山賊に襲われたりする場面が続きますが、メロスの身にこのような災難が降りかかることを暗示している一文を、これより前の文章中から抜き出し、初めの五字を書きなさい。

新郎新婦の

(11) 260ページ17～18行め「正義だの、信実だの、愛だの、考えてみれば、くだらない。人を殺して自分が生きる。それが人間世界の定法ではなかったか。」とありますが、このように考えたことを、メロスはのちになんと表現していますか。261ページの文章中から十字以内で抜き出しなさい。

悪魔のささやき

(12) 261ページ7行め「僅かながら希望が生まれた」とありますが、どのような「希望」ですか。文章中から二つ抜き出しなさい。〔順不同〕

義務遂行の希望

（わが身を殺して、）名誉を守る希望

(13) 266ページ2行め「おまえらは、わしの心に勝ったのだ。」とありますが、王はどのようなことを伝えたかったのですか。四十字以内で書きなさい。

例　メロスたちが、互いを信じ合う姿を見て、自分も人を信じる気持ちになったということ。

別解　メロスたちが、人の心は信じられないという自分の考えを変えさせたということ。〈37字〉

(14) 「メロス」「ディオニス」「セリヌンティウス」の人物像として適切なものを次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア　友人思いで、人は信じられるという強い信念をもつ人物。
イ　冷静で思慮深く、物事を慎重に判断しようとする人物。
ウ　人を信じることができず、猛烈な孤独にとりつかれた人物。
エ　ずる賢く残忍で、人を傷つけることを無上の喜びとする人物。
オ　明るくお人よしで、すぐ人にだまされてしまう人物。
カ　単純で正義感が強い一方、心の弱さもあわせもつ人物。

メロス　カ　　ディオニス　ウ　　セリヌンティウス　ア

名前：　　確認

※教科書が必要です。

(15)　この作品における表現上の工夫について、次のようにまとめました。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。

- 漢語表現の多用
  【効果】場面に［A］や重厚（じゅうこう）な雰囲気をもたらしている。
  例「邪知暴虐」（250ページ1行め）、「憫笑」（252ページ6行め）、「反駁」（252ページ8行め）
- 比喩表現の多用
  【効果】様子や情景を想像しやすくしている。
  ①［B］
  例「逃がした小鳥が帰ってくるというのか。」（253ページ8～9行め）
  ②［C］
  例「百匹の大蛇のようにのたうち荒れ狂う波」（258ページ6行め）
  ③［D］
  例「何か小さくささやきながら清水が湧き出ている」（261ページ5行め）
- 語り手の視点の変化
  【効果】メロスへの共感を促（うなが）したり、物語に迫力を与えたりしている。
  例「メロスは激怒した。」（250ページ1行め）
  →語り手…［E］
  「私は、信頼に報いなければならぬ。」（261ページ12行め）
  →語り手…［F］
- 心情が暗示された情景描写
  【効果】強い印象を与えている。
  例「塔楼は、夕日を受けてきらきら光っている。」（263ページ4～5行め）

1　［A］にあてはまる言葉を、五字以内で考えて書きなさい。

例

緊	張	感		

2　［　］B～Dには、それぞれ～～線B～Dの部分で用いられている比喩の種類があてはまります。適切なものを次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア　直喩法　　イ　隠喩法　　ウ　擬人法

B［イ］　C［ア］　D［ウ］

3　［　］E・Fにあてはまるものを次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア　メロスから距離をとって語っている。
イ　メロスに寄り添って語っている。

E［ア］　F［イ］

4　――線「塔楼は、夕日を受けてきらきら光っている。」とありますが、この情景描写は何を暗示していると考えられますか。二十五字以内で書きなさい。

例

メ	ロ	ス	の	、	日	没	ま	で	に
刑	場	に	戻	れ	る	と	い	う	望
み	。								

名前：　　確認

実施日：　月　日

29 得点UPプリント 文法2 活用のある自立語

教科書 p. 120／294－300

1 次の各文から動詞を一つずつ抜き出し、言い切りの形に直して書きなさい。

① 明日そちらへ行きます。　行く

② 時間に遅れることはない。　遅れる

③ 毎朝七時に起きればよい。　起きる

④ 大急ぎで公園へ来い。　来る

⑤ 将来絶対に外国に住もう。　住む

⑥ そのお菓子はなつかしい味がした。　する

⑦ 午前五時にはまだ校門が開かない。　開く

2 次の動詞の活用の種類をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 寝る	ウ	② 生きる	イ	③ 騒ぐ	ア	
④ 落ちる	イ	⑤ 来る	エ	⑥ する	オ	
⑦ 刷る	ア	⑧ 答える	ウ	⑨ 開発する	オ	

ア　五段活用　　イ　上一段活用　　ウ　下一段活用
エ　カ行変格活用　　オ　サ行変格活用

3 次の各文の――線の動詞の活用形を書きなさい。

① 僕は待ち合わせ場所へと急いだ。　連用形

② ここに来れば、友達に会える。　仮定形

③ 一斉に笛を吹けと言われる。　命令形

④ 命令されると逆らいたくなる。　未然形

⑤ 一学期の学習を復習しておこう。　連用形

⑥ 雨が降る前に山を下りよう。　未然形

⑦ 力強い味方を得ることが必要だ。　連体形

4 次の各文の――線の形容詞の活用形を書きなさい。

① 父の顔はずいぶん赤かった。　連用形

② まずかろうが全部食べなさい。　未然形

③ 褒められてうれしい気持ちになった。　連体形

④ つらければ、家に戻っておいで。　仮定形

⑤ 東の空が明るくなる。　連用形

⑥ 行くにはまだ早いと思う。　終止形

名前：　　確認

5 次の各文の――線の形容動詞の活用形を書きなさい。

① なんて穏(おだ)やかな表情なのだろう。　連体形

② この辺りは夜になるととても静かになる。　連用形

③ 休日の教室は静まり返っていて不気味だろう。　未然形

④ 君が迷惑(めいわく)なら、考え直す。　仮定形

6 例と同じ関係になるように、□にあてはまる動詞を書きなさい。

例 車を止める。／車が止まる。

① 宿題を終える。／宿題が［終わる］。

② 全員を並べる。／全員が［並ぶ］。

③ 熱を［下げる］。／熱が下がる。

④ ボールを［転がす］。／ボールが転がる。

7 次の各文の――線の言葉が、ア補助動詞、イ補助形容詞、ウそれ以外、のどれにあたるかを記号で答えなさい。

① 友達に誕生日プレゼントをあげる。　ウ

② 私は食べるのがあまり早くない。　イ

③ 衣類を引き出しにしまう。　ウ

④ 小さな子と遊んであげる。　ア

⑤ 母と話していると、姉が帰ってきた。　ア

⑥ もっと部屋を暖めてほしい。　イ

8 次の各文から解答欄(らん)の数だけ用言を抜き出し、品詞名と活用形をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

① やはり彼の言うことは正しかったのだ。

用言	言う	正しかっ
品詞名	ア	カ
活用形	エ	イ

② 暗ければ明かりをつけてテレビを見ろ。

用言	暗けれ	つけ	見ろ
品詞名	カ	ウ	イ
活用形	オ	イ	カ

③ 次は真面目に勉強して試験を受けよう。

用言	真面目に	勉強し	受け
品詞名	キ	オ	ウ
活用形	イ	イ	ア

〔用言は各順不同〕

【品詞名（活用の種類）】

ア 動詞（五段活用）　イ 動詞（上一段活用）

ウ 動詞（下一段活用）　エ 動詞（カ行変格活用）

オ 動詞（サ行変格活用）　カ 形容詞　キ 形容動詞

【活用形】

ア 未然形　イ 連用形　ウ 終止形　エ 連体形

オ 仮定形　カ 命令形

名前：　　確認

※本体教材と同一の問題です。

実施日：　月　日

29 直前チェックプリント 文法2 活用のある自立語

得点　／100

教科書 p.120／294〜300

1 次の各文の――線の動詞のA活用形と、B活用の種類を書きなさい。（2点×10）

① 来週の試合のために、しっかり練習した。
A 連用形　B サ行変格活用

② もっと明るい音楽を聴けばいいのに。
A 仮定形　B 五段活用

③ 貴重な食料だから大切に食べろ。
A 命令形　B 下一段活用

④ 明日は六時に起きるので、今日は早寝が賢明だ。
A 連体形　B 上一段活用

⑤ もう時間だが前田さんがなかなか来ない。
A 未然形　B カ行変格活用

2 例と同じ関係になるように、□にあてはまる動詞を書きなさい。（5点×4）

例 人を集める。／人が集まる。

① 力を加える。／力が□。　加わる
② 人を□。／人が泊まる。　泊める
③ 舌を出す。／舌が□。　出る
④ 形を□。／形が変わる。　変える

3 次の各文の形容詞・形容動詞に――線を引き、それがア形容詞か、イ形容動詞かを記号で答えなさい。また、その活用形も書きなさい。（2点×15）

① 髪が長かったので、結んだ。　ア　連用形
② 細やかな気づかいをする。　イ　連体形
③ いくら苦しかろうともあきらめない。　ア　未然形
④ 田中さんはいつも元気です。　イ　終止形
⑤ 部屋がきれいならば人も来る。　イ　仮定形

4 次の各組の――線の用言のうち補助用言であるほうに○をつけ、それが補助動詞か補助形容詞かを書きなさい。（完答6点×2）

① ア（○）白鳥が飛んでいる。／イ（　）湖に白鳥がいる。　補助動詞
② ア（○）私の鏡はそんなに大きくない。／イ（　）私の部屋には鏡がない。　補助形容詞

名前：　確認

※本体教材と同一の問題です。

5 次の［　］にあてはまるように「来る」を活用させて、平仮名で書きなさい。（3点×6）

野球部の先輩に「今日見学に［①］か？　絶対［②］よ。」と誘われて、行ってみた。見学に［③］ている人は他にもいて、練習内容は、友達も［④］ばよかったのにと思うほどおもしろかった。次は一緒に［⑤］よう。今度［⑥］ときは練習に参加しよう。

① くる	② こい
③ き	④ くれ
⑤ こ	⑥ くる

名前：　　確認